

東北電原設第 12 号
令和 3 年 12 月 10 日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣
萩生田 光一 殿

仙台市青葉区本町一丁目 7 番 1 号
東北電力株式会社
取締役社長 社長執行役員
樋口 康二郎

工事計画届出書の一部補正について

令和 3 年 11 月 24 日付け東北電原設第 8 号をもって届出しました工事計画届出書について、別紙のとおり一部補正いたします。

別 紙

目 次

1. 工事計画届出書の補正項目を記載した書類
2. 補正を必要とする理由を記載した書類
3. 補正前後比較表
4. 補正内容を反映した書類

1. 工事計画届出書の補正項目を記載した書類

補正項目

補正項目は下表のとおり。

補正項目	補正箇所
届出範囲 I 公害の防止に関する工事計画書 (二) ばい煙処理施設	「3. 補正前後比較表」による。 「3. 補正前後比較表」による。
II 添付書類 II-1 ばい煙に関する説明書 II-1-2 ばい煙発生施設使用の方法(最大連続時)	「3. 補正前後比較表」による。

2. 振正を必要とする理由を記載した書類

補正を必要とする理由

令和 3 年 11 月 24 日付け東北電原設第 8 号にて届出した工事計画届出書について、誤記修正および記載の適正化を行うため振正する。

3. 補正前後比較表

女川原子力発電所第2号機 工事計画届出書の一部補正 補正前後比較表
【届出範囲】

変更前	変更後	備考
<p style="text-align: center;">届出範囲</p> <p>今回の届出範囲は、女川原子力発電所第2号機の次の部分であります。</p> <p>一 大気汚染防止法第二条第二項に規定するばい煙発生施設に該当する電気工作物に係る工事</p> <p>1 ガスタービン又は内燃機関の設置又は改造であって燃料の燃焼能力若しくは燃料の種類の変更を伴うもの</p> <p>5 非常用予備発電装置又は非常用予備動力装置の設置又は改造であって原動機の出力の変更を伴うもの</p> <p>二 大気汚染防止法第二条第三項に規定するばい煙処理施設に該当する電気工作物に係る工事</p> <p>七 騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事</p> <p>発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における空気圧縮機、送風機、通風機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置（特定施設の種類ごとの数を当該特定施設の種類について直近に届け出た数の二倍以内の数に増加する場合を除く。）又はこれらに係る騒音防止設備の廃止若しくは改造であって騒音防止の能力の減少を伴うもの</p> <p>八 振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事</p> <p>発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における圧縮機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置若しくは改造であって能力の変更を伴うもの又はこれらに係る振動防止設備の廃止若しくは改造であって振動防止の能力の減少を伴うもの</p>	<p style="text-align: center;">届出範囲</p> <p>今回の届出範囲は、女川原子力発電所第2号機の次の部分であります。</p> <p>一 大気汚染防止法第二条第二項に規定するばい煙発生施設に該当する電気工作物に係る工事</p> <p>1 ガスタービン又は内燃機関の設置又は改造であって燃料の燃焼能力若しくは燃料の種類の変更を伴うもの</p> <p>二 大気汚染防止法第二条第三項に規定するばい煙処理施設に該当する電気工作物に係る工事</p> <p>2 次に掲げる設備に附属する通風設備の設置、改造又は廃止であって、煙突の種類、出口におけるガスの速度、温度若しくは大気汚染防止法第六条第二項に規定するばい煙濃度、口径、地表上の高さ又は排出ガス量の変更を伴うもの</p> <p>(3) ガスタービン</p> <p>七 騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事</p> <p>発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における空気圧縮機、送風機、通風機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置（特定施設の種類ごとの数を当該特定施設の種類について直近に届け出た数の二倍以内の数に増加する場合を除く。）又はこれらに係る騒音防止設備の廃止若しくは改造であって騒音防止の能力の減少を伴うもの</p> <p>八 振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事</p> <p>発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における圧縮機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置若しくは改造であって能力の変更を伴うもの又はこれらに係る振動防止設備の廃止若しくは改造であって振動防止の能力の減少を伴うもの</p>	<p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p>

女川原子力発電所第2号機 工事計画届出書の一部補正 補正前後比較表
【I 公害の防止に関する工事計画書 (二) ばい煙処理施設】

変更前		変更後		備考																																																															
I R 0	I R 1	O 2	O 2	記載の適正化																																																															
I 公害の防止に関する工事計画書 事業場の名称 女川原子力発電所 事業場の位置 宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市	I 公害の防止に関する工事計画書 事業場の名称 女川原子力発電所 事業場の位置 宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市																																																																		
(一) ばい煙発生施設	(一) ばい煙発生施設																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>ガスターイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ばい煙 発生施設</td> <td>種類</td> <td>単純開放サイクル1軸式</td> </tr> <tr> <td>出力又は能力</td> <td>4,500 kVA</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">有効火床面積</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料の燃焼能力(重油換算)</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">燃料</td> <td>種類</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>硫黄分</td> <td>0.001% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>窒素分</td> <td>0.001% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>灰分</td> <td>0% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>発热量</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> </tbody> </table>			ガスターイン	ばい煙 発生施設	種類	単純開放サイクル1軸式	出力又は能力	4,500 kVA	個数	2	伝熱面積		該当なし	有効火床面積		該当なし	燃料の燃焼能力(重油換算)		[REDACTED]	燃料	種類	軽油	硫黄分	0.001% (重量比)	窒素分	0.001% (重量比)	灰分	0% (重量比)	発热量	[REDACTED]	使用量	[REDACTED]	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>ガスターイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ばい煙 発生施設</td> <td>種類</td> <td>単純開放サイクル1軸式</td> </tr> <tr> <td>出力又は能力</td> <td>4,500 kVA</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝熱面積</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">有効火床面積</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">燃料の燃焼能力(重油換算)</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">燃料</td> <td>種類</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>硫黄分</td> <td>0.001% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>窒素分</td> <td>0.001% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>灰分</td> <td>0% (重量比)</td> </tr> <tr> <td>発热量</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td>[REDACTED]</td> </tr> </tbody> </table>			ガスターイン	ばい煙 発生施設	種類	単純開放サイクル1軸式	出力又は能力	4,500 kVA	個数	2	伝熱面積		該当なし	有効火床面積		該当なし	燃料の燃焼能力(重油換算)		[REDACTED]	燃料	種類	軽油	硫黄分	0.001% (重量比)	窒素分	0.001% (重量比)	灰分	0% (重量比)	発热量	[REDACTED]	使用量	[REDACTED]		
		ガスターイン																																																																	
ばい煙 発生施設	種類	単純開放サイクル1軸式																																																																	
	出力又は能力	4,500 kVA																																																																	
	個数	2																																																																	
伝熱面積		該当なし																																																																	
有効火床面積		該当なし																																																																	
燃料の燃焼能力(重油換算)		[REDACTED]																																																																	
燃料	種類	軽油																																																																	
	硫黄分	0.001% (重量比)																																																																	
	窒素分	0.001% (重量比)																																																																	
	灰分	0% (重量比)																																																																	
	発热量	[REDACTED]																																																																	
	使用量	[REDACTED]																																																																	
		ガスターイン																																																																	
ばい煙 発生施設	種類	単純開放サイクル1軸式																																																																	
	出力又は能力	4,500 kVA																																																																	
	個数	2																																																																	
伝熱面積		該当なし																																																																	
有効火床面積		該当なし																																																																	
燃料の燃焼能力(重油換算)		[REDACTED]																																																																	
燃料	種類	軽油																																																																	
	硫黄分	0.001% (重量比)																																																																	
	窒素分	0.001% (重量比)																																																																	
	灰分	0% (重量比)																																																																	
	発热量	[REDACTED]																																																																	
	使用量	[REDACTED]																																																																	
(二) ばい煙処理施設	(二) ばい煙処理施設																																																																		
1. ばい煙処理設備	2. 通風設備																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">ばい煙 処理設備</th> <th>種類</th> <th colspan="2">該当なし</th> </tr> <tr> <th>容量</th> <th colspan="2">該当なし</th> </tr> <tr> <th>個数</th> <th colspan="2">該当なし</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">ばい煙量</td> <td>硫黄酸化物</td> <td>窒素酸化物</td> <td>ばいじん</td> </tr> <tr> <td>入口</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>出口</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>ばい煙濃度</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ばい煙濃度</td> <td>入口</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>出口</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>ガスの濃度</td> <td>入口／出口</td> <td colspan="2">該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">アンモニアの注入量</td> <td colspan="2">該当なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ばいじん濃度(アンモニアの注入により発生する)</td> <td colspan="2">該当なし</td> </tr> </thead></table>	ばい煙 処理設備	種類	該当なし		容量	該当なし		個数	該当なし		ばい煙量	硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん	入口	該当なし	該当なし	出口	該当なし	該当なし	ばい煙濃度	該当なし	該当なし	ばい煙濃度	入口	該当なし	該当なし	出口	該当なし	該当なし	ガスの濃度	入口／出口	該当なし		アンモニアの注入量		該当なし		ばいじん濃度(アンモニアの注入により発生する)		該当なし		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="7">煙突</th> <th>種類</th> <th>排気ダクト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出口のガス速度</td> <td>[REDACTED] 3.7 m/s</td> </tr> <tr> <td>出口のガス温度</td> <td>[REDACTED] 540°C</td> </tr> <tr> <td>口径</td> <td>[REDACTED] 797 mm</td> </tr> <tr> <td>地表上の高さ</td> <td>[REDACTED] 4.2 m</td> </tr> <tr> <td>有効高さ</td> <td>[REDACTED] 4.2 m</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1 (ばい煙発生施設1個あたり)</td> </tr> </tbody> </table>	煙突	種類	排気ダクト	出口のガス速度	[REDACTED] 3.7 m/s	出口のガス温度	[REDACTED] 540°C	口径	[REDACTED] 797 mm	地表上の高さ	[REDACTED] 4.2 m	有効高さ	[REDACTED] 4.2 m	個数	1 (ばい煙発生施設1個あたり)									
ばい煙 処理設備		種類	該当なし																																																																
		容量	該当なし																																																																
	個数	該当なし																																																																	
ばい煙量	硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん																																																																
	入口	該当なし	該当なし																																																																
	出口	該当なし	該当なし																																																																
	ばい煙濃度	該当なし	該当なし																																																																
ばい煙濃度	入口	該当なし	該当なし																																																																
	出口	該当なし	該当なし																																																																
ガスの濃度	入口／出口	該当なし																																																																	
アンモニアの注入量		該当なし																																																																	
ばいじん濃度(アンモニアの注入により発生する)		該当なし																																																																	
煙突	種類	排気ダクト																																																																	
	出口のガス速度	[REDACTED] 3.7 m/s																																																																	
	出口のガス温度	[REDACTED] 540°C																																																																	
	口径	[REDACTED] 797 mm																																																																	
	地表上の高さ	[REDACTED] 4.2 m																																																																	
	有効高さ	[REDACTED] 4.2 m																																																																	
	個数	1 (ばい煙発生施設1個あたり)																																																																	
[REDACTED] 1	[REDACTED] 1	[REDACTED]	[REDACTED]																																																																

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画届出書の一部補正 補正前後比較表
【I 公害の防止に関する工事計画書 (二) ばい煙処理施設】

変更前	変更後	備考
2. 通風設備		
通風機	種類 該当なし 出力又は能力 該当なし 個数 該当なし	
圧縮機	種類 該当なし 出力又は能力 該当なし 個数 該当なし	
煙突	種類 該当なし 出口のガス速度 該当なし 出口のガス温度 該当なし 口径 該当なし 地表上の高さ 該当なし 有効高さ 該当なし 個数 該当なし	
(七) 騒音発生施設	(七) 騒音発生施設	
	空気圧縮機 種類 容積形(スクリュー式) 容量 220m³/h/個 個数 2 騒音防止設備 種類 該当なし	
(八) 振動発生施設	(八) 振動発生施設	記載の適正化
	空気圧縮機 種類 容積形(スクリュー式) 容量 220m³/h/個 個数 2 騒音防止設備 種類 該当なし	
O2 I ROE	O2 I R1E	
(七) 騒音発生施設		
	空気圧縮機 種類 容積形(スクリュー式) 容量 220m³/h/個 個数 2 騒音防止設備 種類 該当なし	
(八) 振動発生施設		
	空気圧縮機 種類 容積形(スクリュー式) 容量 220m³/h/個 個数 2 騒音防止設備 種類 該当なし	
2	2	

女川原子力発電所第2号機 工事計画届出書の一部補正 補正前後比較表
【II-1-2 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）】

変更前		変更後		備考
二 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）		二 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）		
工場又は事業場における施設の名称・番号	ガスタービン発電機車	工場又は事業場における施設の名称・番号	ガスタービン発電機車	
排出基準	硫黄酸化物 (規制 K 値) 窒素酸化物 ばいじん	— — — —	硫黄酸化物 (規制 K 値) 窒素酸化物 ばいじん	— — — —
使用燃料	種類 発熱量 比重 硫黄分 窒素分 灰分 使用量	軽油 [] 0.82 (15°C g/cm³) 0.00% (重量比) 0.00% (重量比) 0.00% (重量比) []	種類 発熱量 比重 硫黄分 窒素分 灰分 使用量	軽油 [] 0.82 (15°C g/cm³) 0.00% (重量比) 0.00% (重量比) 0.00% (重量比) []
排煙条件	排出ガス量（湿り） 排出ガス量（乾き） 排出ガス温度 排出ガス速度 煙突の実高さ 煙突の有効高さ 排出ガス中の酸素濃度	[] [] [] [] 4.2 m 4.2 m []	排出ガス量（湿り） 排出ガス量（乾き） 排出ガス温度 排出ガス速度 煙突の実高さ 煙突の有効高さ 排出ガス中の酸素濃度	[] [] [] [] 4.2 m 4.2 m []
排出ばい煙	硫黄酸化物の量 硫黄酸化物の濃度 硫黄酸化物の最大着地濃度 (相当 K 値) 窒素酸化物の量 窒素酸化物の濃度 ばいじんの量 ばいじんの濃度	0.00059 ppm (容量比) (K= 0.34相当) [] []	硫黄酸化物の量 硫黄酸化物の濃度 硫黄酸化物の最大着地濃度 (相当 K 値) 窒素酸化物の量 窒素酸化物の濃度 ばいじんの量 ばいじんの濃度	0.00059 ppm (容量比) (K= 0.34相当) [] []
参考事項	(1) ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況：特に変動なし (2) 窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法：該当なし (3) 1日の標準稼働時間が24時間に満たない場合の稼働時間：非常用につき年間約50時間（保守運転による稼働時間を含む） (4) 常用又は非常用（専ら非常用において用いられるのもをいう。）の別：非常用		(1) ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況：特に変動なし (2) 窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法：該当なし (3) 1日の標準稼働時間が24時間に満たない場合の稼働時間：非常用につき年間約50時間（保守運転による稼働時間を含む） (4) 常用又は非常用（専ら非常用において用いられるのもをいう。）の別：非常用	誤記修正
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。		枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。		
II-1-2 R0E		II-1-2 R1E		

4. 挿正内容を反映した書類

届出範囲

今回の届出範囲は、女川原子力発電所第2号機の次の部分であります。

一 大気汚染防止法第二条第二項に規定するばい煙発生施設に該当する電気工作物に係る工事

1 ガスタービン又は内燃機関の設置又は改造であって燃料の燃焼能力若しくは燃料の種類の変更を伴うもの

二 大気汚染防止法第二条第三項に規定するばい煙処理施設に該当する電気工作物に係る工事

2 次に掲げる設備に附属する通風設備の設置、改造又は廃止であって、煙突の種類、出口におけるガスの速度、温度若しくは大気汚染防止法第六条第二項に規定するばい煙濃度、口径、地表上の高さ又は排出ガス量の変更を伴うもの

(3) ガスタービン

七 騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事

発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における空気圧縮機、送風機、通風機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（騒音規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置（特定施設の種類ごとの数を当該特定施設の種類について直近に届け出た数の二倍以内の数に増加する場合を除く。）又はこれらに係る騒音防止設備の廃止若しくは改造であって騒音防止の能力の減少を伴うもの

八 振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当する電気工作物（同法第三条第一項の規定により指定された地域内に設置するものに限る。）を設置する事業場の電気工作物に係る工事

発電所、電力保安用通信設備若しくはこれらの設置のための事業場における圧縮機、破碎機、粉碎機若しくは摩碎機（振動規制法第二条第一項に規定する特定施設に該当するものに限る。）の設置若しくは改造であって能力の変更を伴うもの又はこれらに係る振動防止設備の廃止若しくは改造であって振動防止の能力の減少を伴うもの

I 公害の防止に関する工事計画書

事業場の名称 女川原子力発電所

事業場の位置 宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市

(一) ばい煙発生施設

		ガスターイン
ばい煙 発生施設	種類	単純開放サイクル 1 軸式
	出力又は能力	4, 500 kVA
	個数	2
伝熱面積		該当なし
有効火床面積		該当なし
燃料の燃焼能力（重油換算）		[REDACTED]
燃料	種類	軽油
	硫黄分	0.001% (重量比)
	窒素分	0.001% (重量比)
	灰分	0% (重量比)
	発熱量	[REDACTED]
	使用量	[REDACTED]

(二) ばい煙処理施設

2. 通風設備

煙突	種類	排気ダクト
	出口のガス速度	37 m/s
	出口のガス温度	540°C
	口径	797 mm
	地表上の高さ	4.2 m
	有効高さ	4.2 m
	個数	1 (ばい煙発生施設 1 個あたり)

(七) 騒音発生施設

空気圧縮機	種類	容積形（スクリュー式）
	容量	220m ³ /h/個
	個数	2
騒音防止設備	種類	該当なし

(八) 振動発生施設

空気圧縮機	種類	容積形（スクリュー式）
	容量	220m ³ /h/個
	個数	2
騒音防止設備	種類	該当なし

二 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）

工場又は事業場における施設の名称・番号	ガスタービン発電機車
排出基準	硫黄酸化物
	(規制 K 値)
	窒素酸化物
	ばいじん
使用燃料	種類
	発熱量
	比重
	硫黄分
	窒素分
	灰分
排煙条件	使用量
	排出ガス量（湿り）
	排出ガス量（乾き）
	排出ガス温度
	排出ガス速度
	煙突の実高さ
	煙突の有効高さ
排出ばい煙	排出ガス中の酸素濃度
	硫黄酸化物の量
	硫黄酸化物の濃度
	硫黄酸化物の最大着地濃度
	(相当 K 値)
	窒素酸化物の量
	窒素酸化物の濃度
	ばいじんの量
参考事項	ばいじんの濃度
	(1) ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況：特に変動なし
	(2) 窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法：該当なし
	(3) 1日の標準稼働時間が24時間に満たない場合の稼働時間：非常用につき年間約50時間（保守運転による稼働時間を含む）
	(4) 常用又は非常用（専ら非常用において用いられるのもをいう。）の別：非常用